

一般旅券発給申請書記入例

- ・黒（推奨）または濃い青のボールペンで、太枠内の所定欄をはみ出さないように記入してください。
- ・申請書は機械で読み取りますので折り曲げたり汚したりしないでください。
- 「所持人自署」欄に書き間違い、二度書き、文字のカスレ、汚れなどがある場合は新しい申請書に書き直していただきます。
- ・その他の記入誤りは二重線で消し訂正してください。

（表面）

新規・切替		一般旅券発給申請書		5年用	
(18歳未満の申請者又は18歳以上で有効期間が5年の一般旅券を希望する申請者用)					
受理年月日	□□□□□□	受理番号	□□□□□□□□□□		
窓口記入欄	記入しないでください				確認
有効期間	☒ 1年	発行年月日	□□□□□□	交付年月日	□□□□□□
写真		氏名			
写真貼らずにお持ちください 注意 1. 申請者本人のみ 2. 6ヶ月以内に撮影したもの 3. 正面、無帽、無背景 4. 縦45mm×横35mm (ふちなし、頭は頭頂から顎までが34mm±2mm) *提出された写真は旅券に転写されます。 *裏面に氏名を記載してください。		ヨミカタ(カタカナで記入。濁点及び半濁点は「ハ」「ヒ」等と記入してください。) ガ イ ム ② タ ロ ウ 姓 (戸籍に記載のとおり、姓をすべて記入してください) 名 外 務 ③ 太 郎 ヘボン式ローマ字 活字体大文字で記入してください。 (姓が足りない場合は裏面に申し出てください) ④ G A I M U T A R O ヘボン式でない表記を旅券面に記載する場合は裏面の氏名欄もご記入ください。			
① 所持人自署 (署名は旅券にそのまま転写されます) 外務 太郎 (枠からはみ出さないよう署名してください) 所持人自署については申請者本人が署名してください。ただし、乳幼児など申請者が自ら署名することが困難な場合は、法定代理人などが代筆することができます。 その場合には、点線より上の枠内に申請者の氏名を記入し、点線より下の枠内に記入者の氏名及び申請者との関係を記入してください。 (例えば、by A. YAMADA (Mother) や by A. YAMADA (Father) など)		性別	性 別 ☒ 男 ☐ 女	生年	月 日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - 6 3 0 2 2 2
本籍		島根県 ⑤ 松江市殿町〇番地△ (都道府県名を左詰めで記入してください) 市区町村以下を記入してください)			
旅券番号		⑦ M R 7 6 5 4 3 2 1 発行年月日 西暦で記入 2 0 0 9 0 7 0 5			
年齢		⑧ 満(35)歳 私は有効期限が(5)年の一般旅券の発給を希望します。			
現住所		〒690-0823 電話 0852 (22) 0000 ⑩ 松江市西川津町1234 携帯 090 (1234) 0000 メールアドレス Shimane-△△@jpn ⑪ その他勤務先など日中の連絡先 △△△ 電話 0852 (33) 0000			
住所		⑫ 松江市□□町〇〇番地 外務一郎 申請者との関係 父 電話 0852 (22) 0000			
緊急連絡先		※次の各事項に該当しているか否か、□に✓印を記入してください。 (本人又は法定代理人が記入してください。) 1. 外国で入国拒否、退去命令又は処罰されたことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 2. 現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。 ☐ はい ☒ いいえ 3. 現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならない状態にありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 4. 旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 5. 日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を使用して(未遂を含む)、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 6. 国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ			
外務省		03 13条 10 別名併記 14 海外確認 0A 別人 0C 解除 0E 職権 0H 特例1 0K 特例3			
コード欄		04 対立地域 05 ヘボン式 06 海外表紙 0B 失効 0C 他国 0D 不正取得 0F 例2			
官庁コード		(別記第2号様式)			

記入しないでください

- ④住民登録どおりに番地まで記入してください。勤務先等があれば、「日中の連絡先」欄に名称、電話番号を記入してください。
- ⑤居所申請する方は、居所の所在地を記入してください。
- ⑥渡航中、国内で確実に連絡がとれる方（親族のほか、友人や勤務先でも可）を記入してください。
- ⑦刑罰等関係（よく読んで✓をしてください。）
「はい」に✓が入る方は、事前に窓口へ手続き（必要書類）をお問い合わせください。
- ⑧外国籍の有無（該当する□に✓をしてください。）
「はい」に✓が入る方は、その場合の質問にもお答えください。

- ①所持人自署（枠からはみ出ないように書いてください。）

- ・この署名（平仮名やローマ字でも可）が旅券に転写されます。
- 外国でのサインとして、繰り返し同様に書けること、日常使用している署名との同一性が重要です。
- ・申請者が小学生未満で署名が困難な場合は法定代理人（親権者・後見人）が代理記名してください。
- ・身体の障がい等で署名が困難な場合は窓口にご相談ください。

代理記名の記入例（点線から下は記名者名と申請者との関係）
乳幼児「外務花子」の署名を母の「ゆり」が記入

外務花子	外務花子
外務ゆり(母)代筆	by Y.Gaimu(mother)

- ②氏名のヨミカタ（濁点は同一マス内に記入してください。）
- ③戸籍氏名（戸籍どおりにかい書体で正確に記入してください。）
- ④ローマ字氏名（ヘボン式で大文字活字体で記入してください。）
※姓の表記は家族で統一してください。
※一度選択した表記は、原則、変更できません。
- ⑤本籍（戸籍どおりに番地まで正確に記入してください。）
- ⑥過去に、申請した旅券を受け取らなかったことがあれば「ある」に✓を、また、一度でも旅券を所持したことがあれば「ある」に✓をしてください。
- ⑦最後に発給を受けた旅券について記入してください。旅券番号と発行年月日がわからなかったら、空欄のままでもかまいません。
- ⑧成人の方が5年用を選択されたときは（ ）内に「5」と記入してください。10年用申請書にこの欄はありません。
- ⑨申請日前3日以内に紛（焼）失届出を行っている場合に✓をしてください。

注意

ヘボン式ローマ字では下のように入ります。

し SHI	ふ・ふう FU	しゅ・しゅう SHU	ちゅ・ちゅう CHU	じゅ・じゅう JU
ち CHI	じ・ぢ JI	しょ・しょう SHO	ちょ・ちょう CHO	じょ・じょう JO
つ TSU	しゃ SHA	ちゃ CHA	じゃ JA	りょ・りょう RYO
撥音：B・P・Mの前にNの代わりにMをおく (例) なんば NAMBA		長音：OO、OU、UU、OHなどは表記しない (例) おおた OTA ゆうこ YUKO ようこ YOKO		
促音：子音を重ねる (例) はっとり HATTORI				

（裏面）

出発予定		15 令和 ○年△月△日		※主要渡航先での滞在期間		16 ☒ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月以上	
※次の各項目のいずれかに該当する場合には、該当する項目の□に✓印をつけた上で、下記の渡航目的及び渡航先を記入してください。							
① ☐ 表面の刑罰等関係欄に該当する事項がある場合				② ☐ 旅券の二重発給を受けようとする場合			
該当する方のみ記入してください							
渡航先(国名) ☐ 渡航先(地域) ☐ 渡航先(船舶) ☐ 渡航先(航空機) ☐ 渡航先(その他) ☐							
今回の渡航先(渡航先国名と、コード表を参照して国コードを記入してください)							
国名	コード	国名	コード	国名	コード	国名	コード
旅券面の氏名表記(申請書表面のヘボン式と異なる氏名表記を希望する場合、以下の氏名表記欄にローマ字活字体大文字で記入してください。(姓と名のどちらか一方の場合もあります)。また、別名併記を希望する場合、戸籍上の氏名に続けて、前後を括弧で囲んで、括弧の中に別名を記入してください。)(別名併記の記入例：GAIMU(TANAKA))	旅券面の氏名表記(申請書表面のヘボン式と異なる氏名表記を希望する場合、以下の氏名表記欄にローマ字活字体大文字で記入してください。(姓と名のどちらか一方の場合もあります)。また、別名併記を希望する場合、戸籍上の氏名に続けて、前後を括弧で囲んで、括弧の中に別名を記入してください。)(別名併記の記入例：GAIMU(TANAKA))						
⑬ ヘボン式表記の方は記入不要です。ヘボン式以外の表記を特に必要とする事情のある方のみ記入してください。(別名を含む)							
注：旅券面への表記可能な文字数は姓・名・スペース合わせて37文字(別名併記を除く)までです。記号(・、～など)や、数字(Ⅲなど)等は記入できません。但し、別名併記の()は記入可。							
外務大臣殿 大使 総領事 殿	令和○年○月○日			申請書を提出する日を記入			
法定代理人(親権者、後見人など)署名				(過去5年以内に申請した前回旅券を受け取らず、その旅券が失効した場合は、通常より高い手数料を徴収します。)			
⑭ 申請書類等提出委任申出書				申請者に代わって申請書類などを提出する場合には、本様式の提出は不要です)			
委任した日を記入				は旅券法第3条第6項の規定に基づき、下記の引受人を通じて旅券申請書類等を提出いたしたく、申し上げます。			
申請者記入	令和 年 月 日	引受人氏名	申請者との関係				
引受人記入	令和 年 月 日	引受人住所	私は本件申請に係る必要書類等を申請者に代わり提出することを引き受けました。私が提出する申請者の所持人自署は本人自筆のもの(又は適正な記名)であること及び写真は本人のものに相違ないことを確認します。私は、過去5年間、旅券の不正取得に係わったことはありません。				
注意	1. 申請書類等を提出する場合には、提出者本人を確認するに足る書類等を提示(出)してください。						
事項	2. この申請による旅券取得が日本国法令の罰則に該当する場合、申請者に代わって必要書類などを提出した者も罰せられることがあります。						

(別記第4号様式)

- ⑮具体的な日程が決まっていなかった場合には「未定」と記入してください。

- ⑯該当する□に✓印をつけてください。

- ⑰ヘボン式以外の氏名表記（別名、旧姓の併記を含む）の場合に記入してください。ご不明な点は窓口にお問い合わせください。

- ⑱申請者が未成年者又は成年被後見人の場合は、法定代理人（親権者又は後見人）の署名が必要です。戸籍どおりにかい書体での署名が原則です。

※法定代理人が遠隔地に在住し、申請書に直接署名できない場合には、別様式の「同意書」に署名し提出してください。（「同意書」は、島根県のHPよりダウンロードできます。）

- ⑲申請書類の提出を法定代理人以外の方に委任される場合に申請者、引受人それぞれが記入して下さい。
※居所申請、紛失に伴う申請、刑罰等に該当（⑬で「はい」に✓）の場合は申請者ご本人がお越しください。
※未成年者の申請を法定代理人が行うときは記入不要です。

点線より上の欄は申請者本人が、下の欄は引受人が記入してください。